

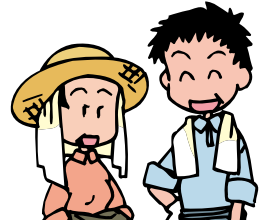
農地 Q&A

Q 荒らしてある農地を貸したいけど方法を教えてください。

: 近所のサラリーマンが耕作してくれるとっているけど貸してもいいですか？

A 松本市では遊休農地の解消と新規就農の促進を目的に、農業経営基盤強化促進法等に基づくもので一定の要件を満たせば農地を借りることができます。

- ・ 農地の面積基準は、10a 以上であること。
- ・ 原則として、就農のための研修等を受けていること。
- ・ 賃貸借又は使用貸借とすること。(売買は出来ません)



よもやまばなし



農業委員

手塚 幸利

(寿)

寿地区は、明治維新により明治7年に赤木、小池、百瀬、南百瀬、白川、白姫、上瀬黒、下瀬黒、竹淵の9ヶ村が合併し「豊丘村」として発足。明治16年に、「豊丘村」「小赤村」「白瀬淵村」の3ヶ村に分村され、明治22年の町村制施行により3ヶ村が合併し小池の「こ」豊丘の「と」白瀬淵の「ぶ」赤木の「き」を用いて、「寿村」が誕生し現在に至っています。

地勢は、鉢伏山を主峰とする東山山地が大きく横たわり、西麓に赤木山、瀬黒山が寿の皆のようには立ちだかっています。地区内を小田川、塩沢川、牛伏川、田川の4河川が流れていますが、いずれの河川も田植えの時期になると水が乏しく、米作りをするのに大変な苦勞をしていました。

昭和30年代から各集落に、数多くの深井戸を掘削し水対策として揚水



太太神楽大祭にて

工事を行って来ました。昔は米と養蚕が主に生産されていましたが、現在は、野菜と果樹を中心とした園芸作物と米が主に生産されています。

また寿地区には、神社が各集落にあり、そのほとんどが江戸時代高島藩領であったこともあり「諏訪社」ですが、上瀬黒町会の米澤社は、「猿田彦大神」を祀っており、「瀬黒の庚申様」として近隣から信仰されています。

年始めの「庚申」の日には初庚申が行われ近在各地から多くの人々がお参りに来ます。

本年は30年に一度の大祭「太太神楽大祭」が4月に実施され神職や舞姫による「神楽奉納」が盛大に厳かに行われました。これからも伝統ある祭りとして継承していければと思います。

編集後記

波田町が松本市と合併して、新しく3人の農業委員が加わりました。

今号は波田地区を紹介し、ともに問題を共有して、お互いに解決に向け努力したいと思います。編集委員には牧田委員が新しく参加しました。

また、農村女性協議会も桑井・武井・奥原さんに交替し、気分も紙面も心新たに取り組みたいと思います。

【農業委員会だより】

編集委員会

- 編集委員長 萩原 佑親
- 副委員長 春日 織部
- 委員 丸山 孝昭

- 〃 倉田 公男
- 〃 山本 千治
- 〃 柳澤 光男
- 〃 伊藤 修平
- 〃 川船とき子
- 〃 牧田 勝明
- 〃 桑井 幸子
- 〃 武井今瑠江
- 〃 奥原 朝子